

成果と課題（概要）

藤井寺市教育委員会は、前回実施された平成21年度全国学力・学習状況調査や、平成22～24年度に実施された大阪府学力・学習状況調査の結果も踏まえ、今回の調査結果を分析いたしました。

学習については、ふだんの授業で自分の考えを発表する機会がさらに多くとられるようになり、このことから、教員の授業における工夫改善が進められております。しかし、児童・生徒にとって「わかる授業」や「確かな学力」の確立にはまだ達しておらず、今後、更なる授業の工夫改善と教育施策の充実に取り組んでまいります。また生活においては、朝ごはんを食べる習慣が徐々にについてきています。さらに、将来の夢や目標を持って日々の生活が送れるように、自己肯定感、自尊感情を高める教育の推進を図ってまいります。本調査の成果と課題の概要については、以下に示しております。

（１）学習について

成 果

藤井寺市の児童・生徒には、主に以下のような成果があげられます。

- 学習した基礎的・基本的な知識や技能を身につけてきていること
- 国語や算数・数学の授業の内容がよくわかること
- 問題に対してあきらめずに取り組んでいること
- 中学校の正答率が徐々に上がり、基礎学力の向上が見られること
- 中学校での国語の学習意欲が伸びていること
- 文章の展開に即して内容を理解すること
- 示された情報から事象の意味を論理的に解釈する点で学力の向上が見られること

課 題

藤井寺市の児童・生徒には、主に以下のような課題があげられます。

- 学習した知識や技能を様々な環境や条件のもとで活かすこと（活用力）
- 表やグラフから特徴や傾向を読み取り、必要な情報を適切に選択し処理すること
- 図形の特徴や単位量当たり・割合・関数などで表されている数量関係を理解し、数学的な思考を行い、解決方法を見通すこと
- 資料から、目的に応じて必要な情報を適切に読み取ること
- 自分の考えを、相手にわかるようにまとめ、書いて説明すること

(2) 生活について

成 果

藤井寺市の児童・生徒には、主に以下のような成果があげられます。

- 学校に行くのが楽しいと思うこと
- 学校で友達と会うのが楽しいと思う子どもが増えていること
- 朝食をきちんと食べて登校していること
- 学校のきまりを守っていること
- 将来の夢や目標を持っていること
- 自分には良いところがあると思えること
- 物事を最後までやり遂げられること
- 失敗を恐れないで挑戦できること
- 家の人と学校での出来事などについてよく話をしていること

課 題

「早寝早起き」の基本的生活習慣は定着しておらず、全国の結果と比べても大きな差が生じています。このことは、健康面・学習面双方に影響を及ぼす危惧があり、今後、家庭との連携を密にして解決すべき喫緊の課題であります。

また、1日あたりのテレビやビデオを見る時間が増え、家庭学習の時間が減少しており、時間を大切にすることも課題であります。今後は、計画的に余暇を活用することに加えて、読書や家庭学習、スポーツ、家族との団らんなど、有意義な時間にあてていくことが大切であると考えます。

藤井寺のすべての子どもたちの学習状況を改善していけるよう、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携し、力をあわせて取り組んでまいりましょう。

(3) 学びの向上

成果と課題から、各学校で「生きる力」（確かな学力・豊かな心・健やかな体）をさらに育み、子どもたちが意欲的に学習し、学びの達成感が感じられる授業となるよう、教員が多様な学習形態や指導法を研究し、日々の授業に取り入れながら、さらに改善を図っていくことが重要であります。

特に「本やインターネット等で、じっくり調べる活動」「話し合いで、考えを広げ深める活動」「自分の考えをまとめる活動」「自分の考えや説明したいことをわかりやすく表現する活動」等を、授業の中で多く取り入れていく必要があります。そのために教育委員会では、「学力向上推進支援事業」をとおして、各学校の特色に応じた授業研究支援、授業作りの研修、個に応じた習熟度別指導の工夫等を推進してまいります。また豊かな学びの環境作りのため、学校図書館支援事業や放課後学習、「ゆめ・志を育む教育」推進事業の一層の充実に取り組んでまいります。